

地域と共に

深小学校校長

平前哲雄

日ごろから地域の行事、PTA活動、学校行事等を通じて深小学校教育の充実・発展のためご協力いただいております。心よりお礼申し上げます。新しい年を迎え、みなさまの尚一層のご発展とご多幸をお祈りいたします。

さて、新しい年を迎えて最近の学校の様子を紹介させていただきます。子どもたち一人ひとりの個性を大切に新しい学力観に立った学校教育の定着をめざしておるところでございます。これからの社会の変化や、子どもたちをめぐむ状況を考えるとき、子ども一人ひとりが生涯にわたって心豊に、主体的創造的に生きていくことができる資質や能力を身につけるようにする必要があります。

そのためには小学校の時期から子ども一人ひとりが、自分の思いや願いを持ち、人間、自然、社会、文化などの様々な対象に進んでかかわり、そこにいろいろな価値ある課題や意図を見だし、それを解決したり、実現したりする資質や能力の育成を重視することが大切になります。又子ども一人ひとりのよさや可能性を生かすことを根底に据え、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの育成を重視する学

力観に立つて学校教育の充実改善を進めることが重要であります。子ども一人ひとりを大切にする学校づくりの実現を目指すとともに、子どもたちが学校における経験を通して獲得したことを確かめたり、生かしたりする機会として、家庭や地域社会の教育を広く視野に入れた、学校教育活動を工夫する必要があります。そのような意味から、家庭や地域社会との積極的な連携を進めることが期待されます。

最近の具体的な例として二月の「お楽しみ会」一月の「とんど」では各地域のお父さんお母さんに係っていただき、冬休みに安全な生活をおくることができました。又、一月二十日「昔の遊び」には高崎壽郎様、児童会運営の「竹馬大会」では各保護者の皆様の竹馬製作、二月四日の「新春ふれあい広場（とんど祭り）」には町内会、尚寿会、消防団、PTA会員の皆様等の地域あげでの応援をいただきました。学校、家庭と地域社会との連携はますます大切なものになります。

深町の伝統を生かし、地域と共にある学校をこれからも推進していきたいと思っております。どうかご協力のほど皆様方によりしくお願い申し上げます。▲小学校から「生活科」を卒業した児童（深町）が「とんど」に登場（写真）



小学校から「生活科」を卒業した児童（深町）が「とんど」に登場（写真）

PTAの福祉部の方は、こうした行事の度に毎に、海苔・干びよう・高野豆腐等を買って学校備品の購入費にあてて下さいます。

入学式、卒業式にはお母さん方手作りの紅白むしパンを祝って下さいました。ミルク給食もありました。家順にミルク沸かしに来てくれました。

校庭の川寄りの所は畑で、中学生が麦や野菜を作っています。耕運機はまだ先のことです。牛と鍬が主流でした。中三の男生徒が一鍬じゃあいけん鍬でやるやあーという事で、五・六人が牛の代わりに鍬を引っ張って牛使いならぬ人使いが鍬を使っておられた風景もまだ鮮やかです。

昭和二十二年 三原市へ合併となりました。



深の歴史(四)

▽深村(不加村)差出帳△ 高崎壽郎

差出帳とは藩が各村の村勢を知るために庄屋に提出させたもので、深村は宝永六(一七〇九)年と文政二(一八一九)年のものが残っている。尚、村名は深、不加両方使ったようである。まず、田畝村高であるが、畝数 四二町七反三歩、村高 四三石九斗二升四合で、これは明治四(一八七二)年の廢藩置県まではほぼ同じであった。

田畠は土質により、九ランクに分けられ反収として例えば、上田一石六斗五升、下田七斗、上島一石一斗、下島二斗五升で屋敷は上田と同じ。この収量の約三分の二を年貢で上納し、島や屋敷分も納める。と米はほとんど残らず、農民は麦や雑穀を常食とせざるをえない。もし、不作や凶作の年は塗炭の苦しみを味わったことは容易に想像できる。



次に、戸数・人口は
・永宝六(一七〇九)年 一八五戸 五三六人
・文政二(一八一九)年 二二九戸 五八五人
で、戸数は百年余りでひどく減少しているが、これは次の深の歴史(五)で述べる享保の大飢饉の影響かも知れない。人口は、江戸時代を通してほとんど変化はなかったようだ。

次いで、雨池として、宝永六年は「とうげ、うを切谷、六かけ、くにやす、つなかけ、ふないたの六ヶ所、文政二年には、味池、魚切池、綱掛池、内記池二所、吉久保池、中畑池、大坪池をあげている。

池は稲作と深い関係がある。深は旱害を受けやすい土地柄なので、灌漑用水の確保には頭を痛めたことだろう。渇水の時、現存する水番や時間水は、ずっと昔から続いている生活の知恵ではなからうか。

次に物産だが、これも時代と共に変わっていく。一昔前までは、美味の深芋(里芋)と黄し西瓜・富研号(深西瓜)が市場で高価を呼び評判だった。現在は、西条柿、富有柿と、昭和五(一九八一)年より一村一品運動で広まった丹波黒(黒大豆)が、深の特産物といえる。

江戸時代の物産はどうだったのだろう。差出帳には、茵陳(かわらよもぎ)木通(あけび)桔梗(ききょう)で、いづれも漢方薬である。又、松割物として、丸太、板、貫、その他として栗丸太をあげている。深は山奥く用材に豊まれていたらしい。寺社として

- ・般若山金剛寺、三原香積寺末寺
- ・八幡宮 干川にあり、三島神社

を同殿に祭る。元和二(一六一六)年丙辰嘗造。とある。又、孝義として、「深村善兵衛妻いは舅姑に事へて孝なり、文化四(一八〇七)年丁卯国老より賞す」と記している。

終わりに、名勝として、「彭祖か滝、桜ヶ滝、雄滝、雌滝という」とある。この滝は、八幡町本庄と深上組との境の御調坂にあるが、絶景であり、心を洗われる思いがする。行楽シーズンのハイキングにもってこいである。(その他は、語の都合で割愛)

★お悔み申し上げます
★水戸川輝行様七四歳 一九〇

〇ピーチバレー参加〇

一月二二日、リージュンプラザで一〇七チーム参加で行なわれました。深は全種目に出場。応援を含め総勢四〇人でした。

二月町内行事予定

- ☆ 小学校・幼稚園
● 新春お楽しみ会(深町) 四日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 五日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 六日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 七日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 八日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 九日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十一日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十二日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十三日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十四日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十五日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十六日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十七日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十八日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 十九日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十一日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十二日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十三日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十四日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十五日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十六日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十七日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十八日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 二十九日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 三十日 代目 谷
- 新春お楽しみ会(深町) 三十一日 代目 谷

展望席

我々は好むと好まざるにかかわらず、何等かの組織に関係している。町内会であり、企業、地方自治体である。その組織が立派に機能しているならば、職権濫用や汚職・不正は起こらないはずだ。ある人は組織倫理について「組織は機能体であるべきで、共同体化した組織は腐敗する。又、腐敗より恐ろしいのは退廃で、退廃は事の善悪の判断ができぬことで、世間で罪悪視されていることがその組織では通用する」。あるうことか北海道では現職高校校長がカラに加担し裏金づくりに励んだ。一月二八日、苦渋の弁明をする校長の姿がTVで放映された。奥尻島高校では、全国から送られた義援金を中央役人の接待に使った。北海道に限らず、官官接待、住専問題の係者は、真相解明より言い逃れに終始する。不祥事の原因と結果、自分を含めた責任者処分と再発防止策。聞きたいのはこれである。組織と、その長はどうあるべきか。今回の事件発覚で改めてその資質を考えた

新春ふれあい広場

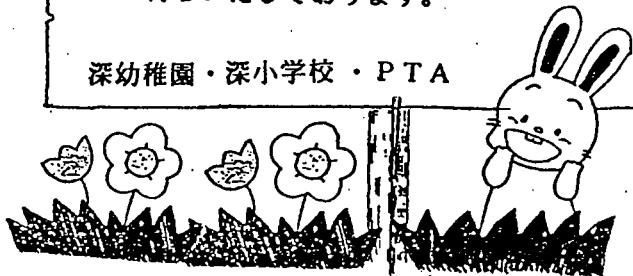
期日 2月4日(日) 8:30~12:30

場所 深小学校 運動場・体育館

日程
 とんどかざり 8:30~9:00 (運動場)
 もちつき 9:00~10:00 (運動場)
 とんどやき 10:00~11:00 (運動場)
 バザー 11:00~12:30 (体育館)
 後かたづけ 12:30~13:30

※ 体育館へお入りになる時に、紙に名前を書いて箱に入れていただいた方には最後にお楽しみのおくじも用意しています。皆様おさそい合わせの上、おいでください。お待ちしております。

深幼稚園・深小学校・PTA



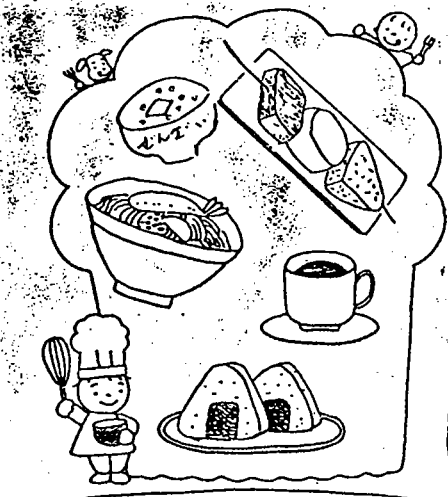
待ってるよ...
来てね...



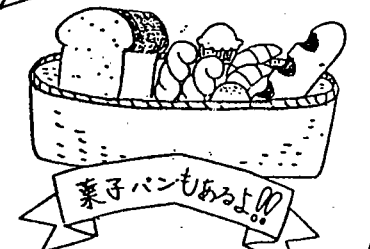
日用雑貨
各種品ぞろえ

手づくり
各種品ぞろえ

その他
びんご品ぞろえ



お値段は当日のお楽しみ!!

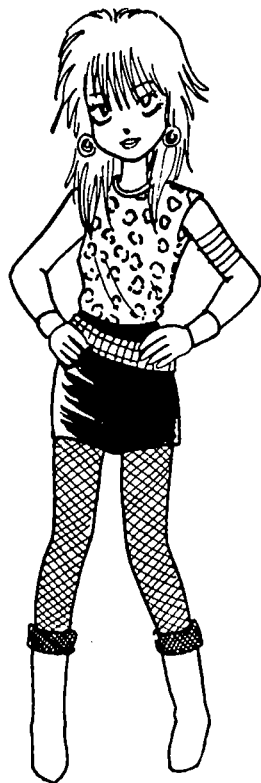


菓子パンもふるよ!!

生活科ごよみ

深小学校

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
自然	サクラ チューリップ ネコヤナギ スイセン の種まき たまご	ワラビ タケノコ ツバメ ハヤ メダカ	ショウブ アジサイ イチゴ サンタロウ セミ ホタル カブトムシ クワガタ	モモ ハウセンカ サルビア セミ ホタル カブトムシ クワガタ	スイカ スズムシ コオロギ	クリ カキ ヒガンバナ 稲刈り の実 アカトンボ	キク サトイモ (深いも) ハクサイ	キク 稲刈り の実 アカトンボ	キク 稲刈り の実 アカトンボ	落ち葉 ウメ フキノトウ タンポポ ツクシ ウグイス	落ち葉 ウメ フキノトウ タンポポ ツクシ ウグイス	落ち葉 ウメ フキノトウ タンポポ ツクシ ウグイス	落ち葉 ウメ フキノトウ タンポポ ツクシ ウグイス
学校行事	入学式 始業式 なかよし遠足 家庭訪問	小運動会 交通安全教室	田植え (夏休み)	(夏休み) 平和学習	(夏休み) 平和学習	秋季運動会 水泳記録会	遠足 稲刈り 城山登り	陸上記録会 ドッジボール 大会 学習発表会	(冬休み) 冬休み 大会	書き初め大会 竹馬大会 ふれあい広場 (とんど祭)	冬季学園 (スキー) 行ワ大会	6年生を 送る 卒業式	
町・市行事	ゲートボール大会 (児童参加) 町内バレー	さつき祭	花火大会 (子ども会)	キャンプ (子ども会) 盆踊り やっさ祭り	敬老会	秋祭り	ゲートボール大会 (児童参加) 文化伝承 (児童参加)	お楽しみ会 (子ども会)	とんど 子ども美展 神明祭				
生活・遊び	花びら集め たけのこ のぼり 魚つり	花輪 こいのぼり	さがし 虫とり 七夕かざり	花や実の 汁集め 柿もぎ 手伝い		落ち葉集め 葉っぱ遊び どんぐり集め	なわとび こままわし たこあげ たけうま	なわとび こままわし たこあげ たけうま	なわとび こままわし たこあげ たけうま	つくしさがし やきいも			
社会	花見 花まつり みどりの日	子どもの日 憲法記念日 国民の休日 愛鳥週間	虫歯予防 時の記念日 夏至	七夕祭り	お盆 原爆記念日 終戦記念日	敬老の日 秋分の日 月見	体育の日 文化の日 勤労感謝の日	天皇誕生日 冬至 もちつき 大晦日	元日 成人の日	節分 建国記念の日	ひな祭り 春分の日		



☆お知らせ☆

第2・第4土曜日に子ども将棋教室を深町民会館で開いています。時間は午前9時半~11時半までです。大人の方も遊びにおいでください。お待ちしております。

お22号特ページ

たかさき